



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

新年のご挨拶

冬晴れの立山連峰

CONTENTS ● もくじ

TOPICS 新年のご挨拶	P.01
特集 地域医療懇談会	P.02
三ノ宮先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
病院★ニュース	P.05
病院からのお知らせ掲示板	P.06
デイケア通信	P.07

病院の理念

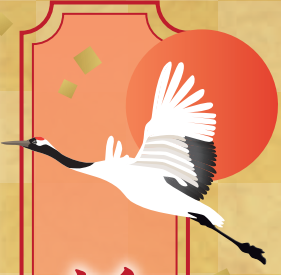
私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院のホームページ
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/>



金沢医科大学氷見市民病院



新年のご挨拶



最高経営責任者 (CEO)
神田 享勉

2025年の新年を迎えました。能登半島地震から1年が経過し、昨年とは違う面持ちで過ごされている事でしょう。本年もどんな予期せぬ事が起こるか分かりませんが、乗り越える確信があります。なぜなら、1年前の予期せぬ震災に、病院の職員が一丸となって乗り超えてくれた経験があるからです。

そこで、地震災害からの復興を、スポーツの切り口から考えてみます。1995年阪神淡路大震災が起きました。神戸のプロ野球・オリックスは、がんばろうKOBÉを合言葉に、悲願の日本一に輝きました。東日本大震災後、仙台の楽天は、球場も被災し野球どころではない状況から一転、こちらも日本一を達成です。

2024年地震の石川県では、大の里が大相撲夏場所です。史上最速の初優勝を果たしました。彼の自宅も停電や断水被害を受けています。彼は祝賀パレードを前に「今も大変な状況が続いていると思う。石川県の皆さんにいい報告ができるように頑張りたい」と語りました。災害は私たちに試練を与えますが、成長や喜びをも与えると信じています。

今年、大学が公設民営化を任されてから18年目です。継続か否かを決定する年でもあります。夜の救急患者さんを受け入れる体制も改善にあり、人口減少の水見市ですが、外来患者数は減っていません。これも市民の皆様からの信頼の証ではないかと思えます。病院経営が健全化し継続することを期待しています。

今年も職員が健康を保ちつつ、市民の健康を守るため、精一杯頑張つてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。



病院長
伊藤 透

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は温かいご指導を賜り感謝申し上げます。令和7年の新年は皆様におかれましては、穏やかに新春をお迎えのことと存じますが、昨年の地震を思い起こし、平穏に迎えられることに感謝しなければならぬと感じております。

しかし、昨年1月1日に発生した能登半島地震、同年9月の能登半島豪雨の災害復旧、復興の道のりは未だ半ばの状態といわれています。水見市は石川県七尾市に隣接しており、富山県の中では最も震災の影響を受けている地区であり、全壊、半壊の住居の公費解体が漸く始まっている状態です。病院は幸運にも軽度の災禍で済み、職員も無事で水見市民の皆様診療にも大きな影響が生じなかったことは幸いであったと感じています。

令和7年度に当院が行うべき重点課題を述べさせていただきます。医師の働き方改革、病院業務のDX化、節水・節電など経費削減、薬剤や医療用機材の適切な選択、看護師、薬剤師、医師等の人材確保など、金沢医科大学および本院の

重点課題は達成する努力を惜しんではなりません。

当院は、公設民営化により、金沢医科大学が指定管理者を担い今年で18年目となりますが、令和8年3月末日迄に、21年以降引き継いでいくかの意思決定を行わなければなりません。18年前、金沢医科大学が管理運営を引き継ぐことになりましたが、引継ぎ時にあった33億円を超える累積赤字は、当時の最高経営責任者の竹越襄先生、病院長の高島茂樹先生の人徳と手腕、周囲の方々のご尽力で解消されました。しかし、水見市は、この10年間で約9,000人の人口減少を認め、富山県内で2番目に高齢化率の高い地域の社会的背景、医療情勢、昨年6月の診療報酬改定などにより、当時水見市と締結した公設民営の協定書は、現在の実情に適合しておらず病院経営は厳しい状況です。この2年間にも経営改善の施策を講じてきましたが、指定管理者負担金の相当額が赤字となり、契約更新期の令和10年までに5億8000万円程度の累積赤字が予想されます。契約更新を行うには、この累積赤字の解消と令和10年度以降の適切な協定改定を行うことが必要と思われまます。

当院は、今後、水見市民の皆様がこの地域に安心安全で、適切かつ高度な医療を継続して提供できるよう全身全霊努力していく所存です。本年もよろしくお願い申し上げます。



第16回

金沢医科大学
氷見市民病院

地域医療懇談会



第一部 懇談会の様子



新任医師紹介



診療紹介1 (笠巻科長)

令和6年11月2日(土)午後6時から、ホテルニューオータニ高岡において、第16回金沢医科大学氷見市民病院地域医療懇談会を開催しました。今年度も懇談会、懇親会の2部形式で執り行うことができました。今回は氷見市や高岡市の開業医の先生方35名にご出席いただきました。また、学校法人金沢医科大学から高島茂樹理事長、当院から神田享勉最高経営責任者、伊藤透病院長をはじめ、診療科長など44名が出席しました。

第一部の懇談会では、神田最高経営責任者から挨拶があり、続いて伊藤病院長よりこの一年間の当院の実績と能登半島地震時の状況について報告され、その後、役職者と新任医師の紹介がありました。

次に、福田副院長を座長に「診療紹介」が行われ、最新の治療法や治療の事例が紹介されました。診療紹介1では、総合診療科笠巻科長から「心房細動の早期発見への取り組み」と題し、心房細動を早期発見することで、患者さんのQOLが向上することや、生命予後にも大きく影響すると講演されました。特に隠れ心房細動を効率的に発見することが重要だと話されました。

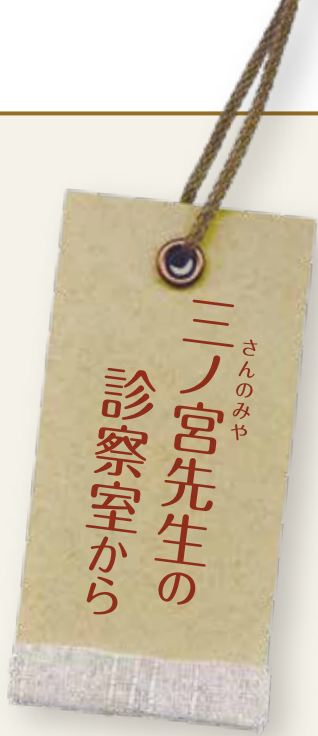
診療紹介2では、皮膚科西部科長から「かゆみの治療」と題し、かゆみのメカニズムについて講演され、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎の治療について詳しく紹介されました。

第二部の懇親会は、高島理事長の挨拶から始まり、氷見市医師会松井みづほ会長のご発声で乾杯が行われました。その後は終始和やかに歓談され、出席された方々の親睦がより一層深まりました。最後に浦島副院長の閉会挨拶により盛会のうちに終りとなりました。



乾杯ご発声(松井医師会長)

今後、氷見市の中核病院として各医療機関の皆様との連携を深め、地域医療に貢献していきたいと思っております。



一般・消化器外科 助教

三ノ宮

YUTA
SANNOMIYA

優太

私

は富山県氷見市で生まれ育ち、氷見市立南部中学校から富山県立高岡高校へ進学しました。地元で培った絆を胸に、地域医療に貢献したいとの思いから、金沢医科大学の医学部指定地域推薦入学試験(氷見枠)による奨学金制度を利用し、金沢医科大学で医師への道を歩み始めました。在学中は、学業のかたわら、小・中・高と取り組んできた野球やハンドボールを部活動として続けながら、数多くの仲間と切磋琢磨し、支え合う経験を積みました。

私が医師を志すきっかけとなったのは、小学生の頃に祖父が脳梗塞を発症し、当院の脳神経外科 高田先生に治療していただいたことです。当時、私の周りには医療関係者はおらず、医師が患者さんの人生に深く寄り添い、その力で病を克服する姿に大きな感銘を受けました。以来、「医療を通し



て人の役に立ちたい」との強い思いを抱き、医師の道を志しました。

現在、私は消化器外科医として消化器系の疾患に悩んでいる方々の診療に携わっております。消化器外科は患者さんの「食生活や生活の質」に直

接関わる分野であり、食へることに喜びを感じる私にとって非常にやりがいを感じる領域です。特に、治療手段として手術が望ましい患者さんに対して、少しでも長く健康で豊かな時間を過ごしていただけるよう、日々尽力しています。

まだまだ経験不足な面もありますが、豊富な知識と経験をもつ二人の大先輩である、指導医の齋藤先生や木南先生のご指導をいただき、また、消化器内科の先生方とも密に連携しながら、日々の診療に励んでいます。

今後も、患者さんに真摯に寄り添い、知識と技術を深め、地域医療に貢献してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

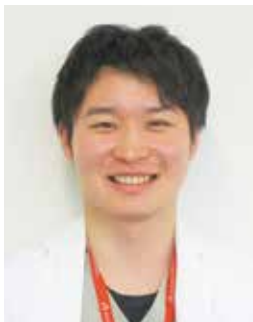
三ノ宮 優太 ★ 略歴

【学歴・職歴】

2019年3月 金沢医科大学医学部 卒業
2021年4月 金沢医科大学 一般・消化器外科 医員
2024年9月 金沢医科大学氷見市民病院 一般・消化器外科 助教

【資格・所属学会】

- 日本外科学会
- 日本消化器外科学会
- 日本臨床外科学会
- 日本消化器病学会
- 日本内視鏡外科学会
- 外科専門医



診療コラム

めまいのリハビリテーション

リハビリテーション部 理学療法士 寺島一希

皆さんは『めまいのリハビリテーション』(前庭リハビリテーション)がある事を知っていますか。

前庭リハビリテーションとは、めまい・ふらつき・平衡感覚などの機能低下といった、前庭系と呼ばれる体のバランスを司る器官の機能障害に対して行われるリハビリテーションです。当院でも2023年から、耳鼻いんこう科へめまいで受診し、前庭神経炎や突発性難聴と診断され、前庭機能が低下している患者さんを対象として前庭リハビリテーションを開始しました。

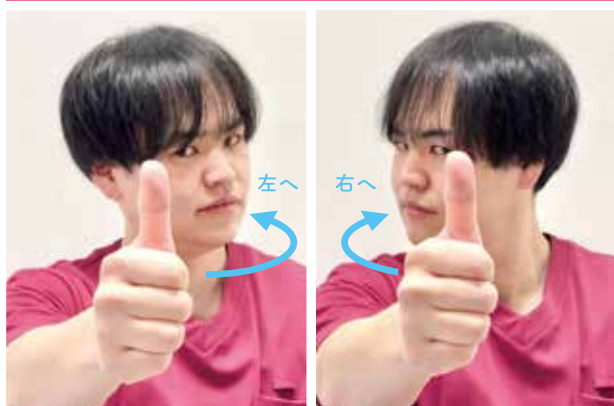


めまいの原因は様々です。



お困りの方は耳鼻いんこう科への受診をご検討ください。

指を見ながら、首を左右に振る運動



理学療法士が患者さんの状態を確認し、適切な運動と自宅でもできる運動の指導を行っています。具体的には写真のように指を見ながら首を上下、左右に振る運動や、応用的な歩行を行うことで、めまいの改善を図っています。

応用的な歩行



また、めまい症状がある方は動くためめまいが増悪することから、「家事が行えない」、「急にめまいが出るのが怖くて外出できない」と自分で活動を制限してしまいうことも多くみられます。そのような患者さんに対して話を聞き、どうい

う時にめまいがおきて、どこまで動けるのかと一緒に運動しながら確認しています。実際には「今までは怖くてできなかったけど、動いてみたら以外とできるんだ」と実感され、『めまいのリハビリテーション』が効果的に働き、一人で買い物に行けたり、バトミントンができるようになったりなど、活動的な生活を送れるようになった患者さんもいました。

めまいの原因は様々で、日常生活においても困っている方も多いと思われるかもしれません。めまいによって生活に支障が出ている方は、一人で悩むのではなく耳鼻いんこう科への受診を検討してください。

令和6年度 災害総合訓練

日時 令和6年11月7日(木)

令和6年災害総合訓練を午前、午後、夜間の3部構成で実施しました。

まず、午前中の火災訓練は、氷見消防署と合同で実施し、院内からの出火を想定した病院初期消火班・誘導班による消火訓練・避難誘導訓練において、手順などの確認を行いました。消防隊による院内へ進入しての消火訓練や、梯子車を用いて病院3階からの避難訓練も行い、氷見消防署から署長をはじめ多くの隊員にご参加いただき、当院との連携協力体制等を確認することができました。



午後からは、地震・津波を想定した災害訓練を実施し、エアストレッチャーを用いた上階への垂直避難誘導訓練や、車椅子ごと上階へ運ぶ訓練などを実施しました。エアストレッチャーの使用が初めての職員もあり、訓練を繰り返し行う必要性を改めて実感しました。また、夜間には連絡報訓練を実施し、非常時の連絡体制を確認しました。いずれの訓練もいつ起こるか分からないため、まさかへの備えの大切さを再確認した訓練となりました。



私立医科大学協会 医療安全・感染対策部門の 相互ラウンド

日時 令和6年11月11日(月) 12時から

当院6階多目的ホールにて令和6年度私立医科大学協会医療安全・感染対策部門の相互ラウンドを行いました。この相互ラウンドは私立医科大学附属病院間のコミュニケーションと情報共有を目的としており、今年度は日本大学病院から医療安全・感染対策担当スタッフ総勢11名の訪問がありました。

当日は2部門に分かれ、医療安全部門では、医薬品や医療機器の安全管理について、研修の実施・参加状況など、感染対策部門では標準予防策の遵守、組織体制状況、抗菌薬の適正使用状況などを評価表に基づいてヒアリングが行われました。



続いて、病院内をラウンドし、各部署での患者誤認防止や、薬剤、輸液等の確認方法について、感染対策の実施状況などを確認しました。

病院間で相互ラウンドを行うことは自施設における医療安全、院内感染防止対策の現状を客観視することができます。ラウンド評価を参考に医療安全・感染対策の強化、改善に努めていきます。

クリスマスコンサート

日時 令和6年12月7日(土) 13時30分から

当院1階エントランスホールにおいて、20代の若手看護師が所属するサークル「りんごステーション」が中心となって企画したクリスマス会が開催され、入院中の患者さん約50名が来場しました。

はじめに、りんごステーションの看護師8名によるハンドベル演奏で、「きらきら星」と「きよしこの夜」が披露され、会場が優しい音色に包まれました。続いて、氷見第九合唱団によるクリスマス定番ソングや、テノール・オペラ歌手の澤武紀行先生によるオーソレミオが披露されました。氷見第九合唱団による総勢約50名の歌声は、力強くも心地よく、来場者は手拍子したり、リズムに乗って身体を揺らし、思い思いに楽しんでいました。アンコールでは、来場者全員で「故郷」を合唱し、温かい拍手の中で終演しました。

今後も、患者さんの癒しとなるイベントを継続して開催していきたいと思えます。



氷見第九合唱団による力強く美しい歌声

管理栄養士のヘルシーレシピ

豆腐のネギ塩あん



1人分の栄養量 エネルギー167kcal
たんぱく質8.6g 塩分0.4g

年末年始に、つい食べ過ぎてしまった方へ。食べ過ぎをリセットするヘルシーなレシピを当院の管理栄養士が紹介します。



◆ 材料:1人分

長ネギ …………… 1/2本
絹ごし豆腐 …… 1/2丁 (150g)
ごま油 …………… 大さじ1/2
塩・粗びきこしょう …… 各少々
(お好みで)いり白ごま …… 適量

(A) 水 …………… 200ml
鶏がらスープの素 …… 小さじ1
醤油 …………… 小さじ1/2
塩 …………… 少々
にんにく、しょうが … 各チューブ1~2cm
(B) 水 …………… 小さじ2
片栗粉 …………… 小さじ1

◆ レシピ

- 1 長ネギを斜め薄切りにする。
- 2 鍋にごま油を中火で熱し、長ネギを炒める。しんなりしたら(A)を注ぐ。
- 3 沸騰したら絹ごし豆腐を塊のまま入れ、2~3分煮る。
- 4 弱火にし、合わせた(B)を回し入れる。
豆腐を大きく崩しながらよく混ぜ合わせ、とろみが付いたら火を止める。
- 5 塩、粗挽き黒胡椒で味をととのえ、お好みでいり白ごまをふる。

病院からのお知らせ掲示板

マイナ保険証で、医療がもっとスムーズに!



2024年12月2日から、従来の健康保険証の新規発行が終了します。今お持ちの保険証は、最長1年間使用できますが、マイナ保険証への切り替えがおすすめです。マイナ保険証を利用すると、高額な医療費が発生しても、自己負担限度額までに抑える限度額適用認定証の手続きをカードリーダーで行えます。(市役所や会社での手続きが不要)さらに、病院や薬局で診療情報を提供することに同意すれば、より適切な医療を受けることができます。

カードには、診療情報や個人情報を含んでいませんので、安心して持ち歩けます。ただし、ご加入の医療保険によっては、マイナ保険証での確認ができない場合があります。その場合は、保険証や保険者から送付される「資格確認証」で保険情報を確認することになります。

マイナ保険証で、よりスムーズで安心な医療サービスをご利用ください。



冬季の駐車場利用について ~ 病院からのお願い ~



冬期間中は、積雪や凍結が起こり、当院でも毎年、駐車場や構内道路での転倒や事故が非常に多く発生しています。

病院の敷地内については、職員による除雪作業を行い、患者さんへの危険が少なくなるよう努力しておりますが、来院の際は十分ご注意ください。

歩行者の方

滑りにくい靴の着用や、足元を意識してゆっくり歩くなど、転倒には十分注意の上、時間に余裕をもって来院ください。

車で来院される方

天候による視界不良や、路面凍結によるスリップの恐れがあるため、駐車場や構内道路では最徐行の徹底をお願いします。

また、積雪により十分な駐車スペースが確保できない場合もございますが、ご理解の程お願いします。

患者さんのご意見・病院の回答

患者さんのご意見

出入りに設置されている自動消毒が出ない時がある。



病院の回答

この度は、ご不便をおかけし申し訳ありません。フロアのスタッフと相談し、1日2回お昼と夕方に消毒液の残量を確認することとなりました。また、自動消毒のみならず、他の消毒液についても不足しないよう同様に確認します。この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

患者さんのご意見

< 入院中の食事について >

食事制限がある患者は別として、週に1回程度のペースで、朝食にパン、夕食に麺類が出る等の楽しみがあれば良い。



病院の回答

貴重なご意見をいただきありがとうございます。パンについては、食パンをご用意していますので、希望される際は、スタッフにお申し出ください。また、麺類は、定期的に昼食で提供していますので、楽しみにお待ちしております。今後も行事食メニュー等、食事を楽しんでいただけるよう努めてまいります。



いただいたご意見やご要望は該当部署で検討し、改善に努めています。皆様からのご意見を参考に、よりよい病院づくりをしてまいりますので、お気づきの点がございましたらお聞かせください。ご意見に対する病院の回答の一部をホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。
8. 安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報 は 厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っています。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。



「クリスマス飾り」 デイケア通信

今回はステンドグラス風の作品を作りました。透明なフィルムを花や蝶の形にかたどり、利用者さんにマジックで綺麗に色を塗っていただきました。

窓に貼ると、外からの光でキラキラと輝き、それぞれの個性がにじむ素敵な作品に仕上がりました。

それと同時に、クリスマスに向けて、利用者さんと一緒にツリーを飾り付けました。カラフルなおナメントで飾られたツリーが置かれると、通所リハビリテーション事業所内が一気にクリスマスモードになりました。

冬の寒い時期は家の中にこもりがちとなり、運動不足に陥りやすくなります。寒いと筋肉も収縮して硬くな



りやすく、柔軟性が低下するためケガをしやすくなります。通所リハビリテーションでは、午前中に介護福祉士の介助で入浴し、湯船でゆっくりと身体を温めます。体操やゲームで楽しく身体を動かし、理学療法士や作業療法士としっかりとリハビリを行い、寒い冬をケガなく健やかに乗り切れるようサポートしていきます。



表紙について

今年の1月に高岡市の商業施設屋上から撮影した立山連峰です。運転中にふと、山々がくっきりと見えることに気づき、とても感動したのを覚えています。いま、「かけはし」をご覧ください。皆さまの中にも、思わずカメラを構えた方もいるのではないのでしょうか。

この写真を撮影した場所では、私の他にも景色を眺めている人がいました。名前も知らない、この先会うことがないであろう人々と、偶然同じ時間と場所で、同じ景色を覗いていることに、なんだか不思議な気持ちになりました。

編集後記

本冬は暖冬となり、雪の少ない過しやすい年の始めとなりました。しかしながら順風満帆とはいかないのが世の常で、2024年の年末よりインフルエンザとコロナが爆発的に流行しております。

皆様におかれましては、お仕事に家事に、日々お忙しいことと思いますが、手洗い・うがいはもちろんのこと、なにとぞご自愛専一になさってください。

ところで、我々富山県民は、勤勉で真面目な性格だと言われています。そのためか、身体の不調があっても、我慢の限界のそのまた限界をこえてから、やっと病院へ来院される方が非常に多い印象です。自分の身体の変化に気づけるのは自分自身です。令和7年の目標は『自愛して過信しないですぐ受診!』と、しましょう。皆様ご自身を存分においとい、甘やかせてください。皆様と、皆様の大切な方々が幸せに日々をお過ごしになることを心よりお祈りしております。

かけはし冬号編集委員 呼吸器内科 山田 真也

■広報誌「かけはし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。